

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.202



発行日 2016年5月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 真嶋研究室内
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org

2016年度 JSiSE 全国大会(第41回)のご案内

開催日 : 2016年8月29日(月)~31日(水)

開催場所 : 帝京大学 宇都宮キャンパス

<http://www.jsise.org/taikai/2016/>

是非ご参加下さい!!



2016年度全国大会のご案内・・・	1-4	会費納入のお願い・・・	17-18
ラーニングイテクノロジーコンテスト		事務局より・・・	19-20
最終審査開催案内・・・	5	会員専用ページの案内, 学会誌・研究報告の	
研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の		バックナンバーのご案内, 新入会員のご紹介,	
申し込みについて・・・	6	入会のご案内	
学会誌特集号論文募集・・・	7-8		
英文誌論文募集・・・	9-12		
2016年度研究会開催スケジュール・・・	13		
第3回研究会講演募集・・・	14		
第1回研究会開催報告・・・	15-16		
Facebookページのご案内・・・	16		



第41回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 21世紀型スキルを支える教育システムの展開

<http://www.jsise.org/taikai/2016/>

- 開催日時： 2016年8月29日(月)～8月31日(水)
- 会場： 帝京大学 宇都宮キャンパス(〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1)
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程 (予定)

8月29日(月)	
午前	プレカンファレンス
昼	開催校挨拶・表彰・基調講演・企業セッション
午後	一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション
8月30日(火)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
昼	大会企画(高大接続システム: パネルセッション)
午後	一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション, 学生研究特別セッション(インタラクティブ発表)
夜	懇親会
8月31日(水)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
昼	特別招待講演(安西祐一郎先生(独立行政法人日本学術振興会理事長))
午後	公開シンポジウム, クロージングセッション・大会奨励賞表彰

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 投稿・参加申込のスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2016年6月7日(火) 投稿締切
- 2016年6月9日(木) 参加申込開始
- 2016年7月7日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2016年8月2日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2016年8月10日(水) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 交通アクセスについて

お車での来場も可能です。東北自動車道「宇都宮 I.C.」より車で 10 分程度です。お車でお越しの際は、学生駐車場にご駐車ください。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560 円 学生会員：3,240 円 非会員（学生以外）：10,800 円 非会員（学生）：5,400 円 論文掲載料：1,000 円（論文一編につき）	一般会員：8,500 円 学生会員：4,000 円 非会員（学生以外）：12,000 円 非会員（学生）：6,500 円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000 円 学生：2,000 円	[懇親会費] 一般：6,000 円 学生：2,000 円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、特別招待講演、および公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会への参加申し込みは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ プレカンファレンス

6 月初旬にウェブサイトに掲載予定

○ 企画セッション

1. ラーニング・アナリティクス（LA）の先進事例と課題
2. 大学間連携に基づく新しい教育・学習環境
3. 身体知・経験知に関わる学習支援技術
4. 新技術による次世代教育・学習環境と教授設計
5. 初等中等教育におけるプログラミング教育
6. 安心・安全な社会に貢献する教育システム
7. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発
8. 医療・看護・福祉領域における ICT 活用教育

○ 懇親会

帝京大学宇都宮キャンパス食堂にて開催

■ インターネット接続について

学会期間中に、帝京大学の無線 LAN サービスを提供予定です。利用希望者には、無線 LAN の受付において利用申請書を記入の上、ID・パスワードが記載された用紙を配布する予定です。

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM, および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 23 日(火)に大会参加者のみに公開され、2017 年 3 月 1 日(水)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 協賛金のお願ひ

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp

ラーニングテクノロジーコンテスト 「ラーニング・イノベーション グランプリ 2016」 最終審査開催案内

モバイルラーニングコンソシアムは、教育システム情報学会との共催で、教育分野の ICT 活用促進イベント「ラーニングテクノロジー 2016」(2016年6月8日(水)～10日(金)、東京国際フォーラム(東京・有楽町))にて、「ラーニング・イノベーショングランプリ 2016」を開催します。

5月16日に、「ラーニング・イノベーション グランプリ 2016」の2次審査を行い、厳選なる審査の結果、5チームが2次審査を通過いたしました。二次審査の結果が、以下の公式サイトに公開されましたのでお知らせいたします。

http://learntech.nikkeibp.co.jp/2016/exhibition_hall/#line03

最終審査は、以下の通り、日経 BP ヒューマンキャピタル/ラーニングテクノロジー2016 初日に実施されます。

ラーニング・イノベーショングランプリ 2016 (LIGP2016)

2016年6月8日(水) 13:50～

場所：東京国際フォーラム展示会場(東京都千代田区丸の内3-5-1)

「ラーニングテクノロジー2016」会場内

- ・プレゼンテーション会場：オープンシアターA
- ・結果発表・表彰式会場：オープンシアターA

是非、産学連携の機会として、多くの方々のご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】

モバイルラーニングコンソシアム(担当：秋山)

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル2F

問い合わせフォーム <http://www.mobilelearning.jp/FormMail/info/FormMail.html>



研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて

研究会の研究報告が、2016年度から電子化されることになりました！

研究報告は、現在30巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年150件程度の研究成果(2013年度155件、2014年度139件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただいて参りました。

印刷媒体での研究報告では、研究会当日の閲覧のために持ち運びが必要であったり、保管や管理等が煩雑であったかと思いますが、このたびの電子化によって、オンライン上で研究成果のタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となり、さらに保管などの手間もなく、益々便利に活用できるようになります。

つきましては、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- 年間購読：4,000円（定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む）
- 当日販売：1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。

すでに年間購読をされている方は手続き不要です。自動的に研究報告の電子化に移行させていただきます。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

教育システム情報学会誌

特集号論文募集

—能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践—

近年、PBL (Project/Problem-based Learning)、反転学習など、学習者の能動的な学習を促すための学習・教育手法やその中の ICT の活用が注目されています。大学だけではなく初等・中等教育機関においても、組織的にこのような学習形態を取り入れる事例も増加しています。また、職場での学びやアルバイト・ボランティアなどインフォーマルな経験を通じた学びの重要性に関する認識も高まっています。

これらの学習・教育は大きな効果が期待される一方で、綿密な教授設計を行わないと、かえって教育効果が低下してしまうことも起こります。また経験を通じた学びは偶発的な要因に左右されるため、教育効果を担保することは非常に困難です。

以上のような状況を踏まえ、今回、「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践」に関する特集号を企画いたしました。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・支援」に関する研究論文を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「能動的な学び」、「自律的な学び」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば、本特集号の対象となります。

アクティブラーニング、自己調整学習、Project-Based Learning、Problem-Based Learning、反転授業、オンデマンド学習、学習空間デザイン、インフォーマルラーニング、経験学習、CMC(Computer-Mediated Communication)、ソーシャルメディア、ソーシャルラーニング、コミュニケーション支援、学習ポートフォリオ、学習ログ収集・分析、協調学習、協働学習、CSCL/S、インストラクショナルデザイン、FD/SD、LMS/CMS、ブレンディッドラーニング、モバイル端末、授業支援、レスポンスシステム、オープンエデュケーション、MOOCS、ピアレビューなど

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会（2016年3月19日（土）開催）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 投稿論文原稿〆切：2016年6月6日（月）
- 掲載予定巻号：2017年4月1日発行予定の学会誌（Vol.34, No.2）
（採録通知送付予定：2016年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学）、西野和典（九州工業大学）

幹事：森本康彦（東京学芸大学）、根本淳子（愛媛大学）、笠井俊信（岡山大学）、光原弘幸（徳島大学）、
國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）
E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

教育システム情報学会英文誌論文募集

The Journal of Information and Systems in Education, Vol.15

http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して、Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており、掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_ja.html

教育システム情報学会では、2002 年から毎年定期的に英文誌：The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し、国際的な発信力を強化しています。

このたび、Vol.15 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので、是非、この機会に多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思っております。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2016 年 6 月 14 日

締切までに投稿いただいたものは、年内に採否を決定し、採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.15(2016)もしくは Vol.16(2017)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。寄稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で PDF ファイルとして作成し、アップロードしてください。

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）を電子投稿システムの「Comments to the Editorial Office」欄に記入してください。希望の記入がない場合、言語は英語になります。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol.15

*It is published as Open Access Journal through J-STAGE.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

*All articles are available through leading search engines and academic information services, such as Google Scholar and CiNii.

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_en.html

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published The Journal of Information and Systems in Education annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 15 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topic of papers includes but is not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities, etc.
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Date:

Submission Deadline: 14 June, 2016

Instruction for Manuscripts:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

For papers submitted before the submission deadline, notification of acceptance or non-acceptance will be sent to the author within this year. Accepted papers will be appeared in Vol. 15(2016) or Vol. 16(2017) after proofreading and so on.

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp



2016 年度 研究会開催スケジュール

第2回研究会（担当：小松川浩，野崎造成，布施 泉，不破 泰，金子大輔）
◆ テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般 ◆ 日 程：7月9日（土） ◆ 場 所：千歳科学技術大学
第3回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）
◆ テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般 ◆ 日 程：10月1日（土） ◆ 場 所：香川大学 幸町キャンパス
第4回研究会（担当：小尻智子，曾我真人，長谷川忍，柏原昭博）
◆ テーマ：身体知・経験知に関わる学習支援／一般 ◆ 日 程：11月12日（土） ◆ 場 所：和歌山大学
第5回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大）
◆ テーマ：新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般 ◆ 日 程：1月7日（土） ◆ 場 所：愛媛大学
第6回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子）
◆ テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般 ◆ 日 程：3月18日（土） ◆ 場 所：北九州市立大学 ※ 特集研究会と同時開催



2016 年度第 3 回研究会 講演募集

■テーマ：「ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般」

■開催日時：2016 年 10 月 1 日（土）

■会場：香川大学幸町キャンパス研究交流棟研究者交流スペース（香川県高松市）

幸町キャンパスへのアクセス：<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

■担当：林敏浩(香川大学)、小西達裕(静岡大学)、安間文彦(サイバー大学)

■主旨：

本年度第 3 回研究会は「ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般」のテーマで実施いたします。本テーマは、全国大会企画セッション「大学間連携に基づく新しい教育・学習環境」との連動企画となっています。もちろん、本研究会のみ発表もまったく問題ございません。

近年、e-Learning など ICT を基盤とした大学間連携が各地で進展しています。このような新しい形の大学間連携について、ICT 基盤（LMS などの教育支援システムを含む）、単位互換制度や大学教育の共同実施 などの方法論、さらには実際の教育実践と評価などに着目して、全国大会企画セッションと同様、幅広い観点から発表を募集します。

職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮って、ご参加下さい。多くの皆さまの発表をお待ちしております。

■発表申込み：※発表申込み締切：2016 年 7 月 15 日（金）

下記の URL よりお申込みください。

■発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2016 年 8 月 19 日(金)

下記の URL よりお申込みください。

<申し込みシステムの URL>

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。

以下のページをご確認ください。

- ・研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

発表時間は 25 分（発表 18 分、質疑 7 分）を予定しております。

■懇親会：研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4,000～5,000 円の予定です。

■お問い合わせ先：香川大学総合情報センター 林敏浩 E-mail: hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp



2016 年度第 1 回研究会 開催報告

- 会場：放送大学
- テーマ：学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／
医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般
- 開催日：2016 年 5 月 14 日(土)
- 開催場所：放送大学
- 担当：櫻井良樹，仲林清，松居辰則，北村士朗，真嶋由貴恵，加藤泰久，森本容介
- 会場担当：森本容介(放送大学)

■概要

2016 年 5 月 14 日(土)に、放送大学を会場として、第 1 回研究会を開催しました。今回の研究会テーマは「学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般」で、23 件のご発表がありました。このうち、原稿なし発表は 3 件でした。

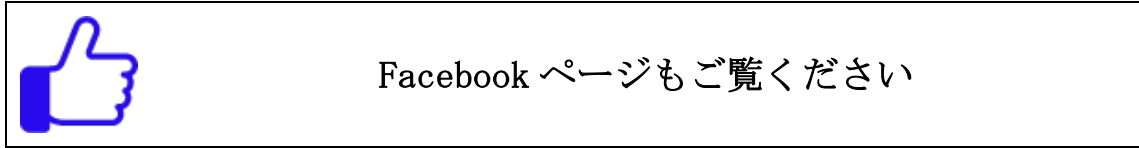
具体的には、生体情報を活用した学習者の心的状態の推定、授業共同設計支援、LINE の教育的活用(教員の継続学習支援、プッシュ型授業情報提供)、論文検索データによる歴史的文脈の客観化、博物館の展示物におけるアンケート手法とその評価、学習分析、アクティブラーニング型授業実践、自己調整学習の方法と評価、作問学習、問題解決ワークシートの提案、小テスト出題方法、順序尺度データの分析手法、イメージベースドレンダリング、複数視点動画の活用(自己省察、看護技術映像教材)、臨床看護技術映像の簡易撮影方法、健康教育へのウェアラブル機器の活用、大学専門基礎数学における反転授業用動画教材開発、MOOC 改善支援のためのダッシュボード設計、医療系大学での学習管理システム構築、救急医療研修における e ラーニングなど幅広い研究発表が 2 つの会場で行われ、発表後には熱い質疑応答も展開される研究会となりました。

また、特別企画として、JSiSE(教育システム情報学会)と JASLA(学習分析学会)の合同企画のパネルディスカッション「Learning Analytics(LA)の発展に向けた取組みと課題」が開催されました。パネリストの仲林清氏(千葉工業大学/JSiSE 会長)と田村恭久氏(上智大学/JASLA 理事長)の話題提供をもとにモデレータである松居辰則氏(早稲田大学)の進行により、会場の参加者と活発な議論が行われました。今後「日本式の LA」に関する議論が進むことが期待されます。

研究会参加者は 69 名、研究会後には懇親会も行われ、7 名の参加者が積極的に意見交換、議論を交わしました。

今回からの新しい変更点として、研究報告が電子化されたことがあります。すでに年間購読をしていた方は学会のマイページから閲覧可能でした。さらに、当日購入された方には会場でダウンロード用のパスワード、または USB メモリをお渡しして閲覧することを可能にしました。研究会受付業務としては初めてのことでしたが、皆様の協力もあり、大きなトラブルもなく、手元で閲覧できて便利であったという声も聞かれました。最新の研究の動向もわかるので、ぜひ電子化された研究報告の年間購読をお勧めいたします。

最後に、ご発表、ご参加頂きました皆さま、会場の準備・運営にご協力頂いたスタッフの皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。



教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

◇ 2016 年 3 月 28 日現在,いいね 197 件

<https://www.facebook.com/jsise.org/>





会費納入のお願い

2016 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行(金融機関コード：9900)

店名：〇一九 店 (ゼロイチキユウ店) 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行(金融機関コード：0005)

店名：上新庄支店 (カミシンジョウ支店)

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行(金融機関コード：0001)

店名：茨木 支店 (イバラキ支店)

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

【2015年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2015年度分のみのお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム (2015 年 1 月にログイン) でご利用いただいた ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2016年1月21日～2016年5月27日

氏名	会員種別
山川 義介	正会員
太田 翔也	学生会員
石田 健一	正会員
山下 範之	正会員
北川 周子	学生会員
清水 康生	正会員
松浦 義昭	正会員
勝瀬 郁代	正会員
近藤 秀樹	正会員
黒田 史彦	正会員 (購読)
有吉 勇介	正会員
石田 倫章	正会員
的場 美希	賛助会員からの正会員
鈴木 智之	賛助会員からの正会員
内田 信二	正会員
森田 佐知子	正会員
吉田 典弘	正会員 (購読)
殷 成久	正会員
山田 祥子	正会員 (購読)
武田 俊之	正会員 (購読)
瀧島 大地	学生会員
内田 知巳	学生会員
石岡 匠也	学生会員
田中 雅章	正会員
岩見 建汰	学生会員

氏名	会員種別
梶 勢也	学生会員
小島 匡顕	学生会員
田尻 圭佑	学生会員
豊永 港	学生会員
大竹 恒平	正会員
後藤 聡文	学生会員 (購読)
登本 洋子	学生会員
横山 輝明	正会員
吉井 泉	正会員
白井 美弥子	正会員
田中 ゆみ	学生会員
杉本 葵	学生会員
榎本 命	学生会員
荻野 了	学生会員
森 夏実	学生会員
鈴木 直美	正会員
白井 邦人	正会員 (購読)
EVANS BENJAMIN LUKE	学生会員
中鉢 欣秀	正会員
小野寺 妙子	正会員
奥原 俊	学生会員 (購読)
Crimson Interactive Pvt. Ltd.	賛助会員
オックスフォード大学出版局	賛助会員
株式会社日本ユニテック	賛助会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料にさせていただきます**というキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。